

# (公社) 日本植物学会平成30年度事業報告

(平成30年1月1日～平成30年12月31日)

## I. 事業の状況

### 事業の概要

本学会は、植物科学に関する研究の進展と知識の普及に関する事業を行い、学術の発展に寄与することを目的としている。平成30年度は、下記の2公益事業を中心に、高い公益性を実現するための施策と事業を展開した。

### (公益事業1) 学会誌及び学術図書の発行、及びインターネットによる植物学と関連技術の最新情報公表

学術雑誌の刊行については、Journal of Plant Research (JPR) 131巻1号～6号(6冊)の発行と電子出版を行った。科学研究費補助金「国際情報発信強化(A)」に関する事業を実施した。植物科学関連の学術集会、研究動向、出版物、研究助成公募、求人公募等の植物科学教育研究情報を収集し、その情報を学会情報誌や日本植物学会ウェブサイトを通じて提供した。さらに一般向け情報をウェブサイト上で公開した。JPRの国内外の研究機関等への寄贈と交換を行った。日本植物学会の所蔵図書を会員や外部閲覧希望者に無料で公開した。

### (公益事業2) 研究発表大会及びシンポジウム・学術講演会・講習会の開催及び関連団体との協働による植物科学の発展と関連技術の振興の推進

定例学術集会として、日本植物学会大会を広島国際会議場にて開催した。また社会への啓発活動等として、大会において一般向け公開講演会および高校生研究ポスター発表会を開催した。これらに加えて、一般向け講演会を東京都で開催した。学術業績の表彰その他研究の奨励として、日本植物学会賞の選考と授与を行った。さらに、大会時に高校生研究ポスター賞を授与した。また各種団体による賞・研究助成金公募への推薦を行った。国内外の関係学術団体、学術連合との連絡及び交流などを協力事業として行った。講演会、講習会等の後援を行った。その他、各地の関連学会を通じた研究動向調査、植物科学教育研究情報の収集と公開を行った。

## 1. 学会誌及び学術図書の発行、及びインターネットによる植物学と関連技術の最新情報公表 (公益事業1)

### ア. 学術雑誌及びその他の出版物の刊行(電子情報も含む)

#### JPR編集委員会

- (1) JPR 131巻1号～6号、(A4変形版、論文頁数1057頁、紙版：年6回隔月(奇数月)発行、発行部数2200部(2-6号は各2100部)、オンライン版：随時維持・整備)の編集と発行を行った。

- (2) 質の高い論文誌発行のため、以下の施策を実施した。
- ① 科学研究費補助金の支援により日本植物学会大会（広島大会）においてJPRシンポジウム2件を企画し、実施した。
  - ② JPRシンポジウム論文の掲載、Current Topics in Plant Researchへの論文招待、オープンアクセス論文の選考を実施した。
  - ③ IFやその他の指標（ゼロ被引用論文数、分野別・国別被引用数等）の解析を行い、ジャーナルの国際的な評価の向上策として、科学研究費の支援により、電子メールサービスを利用し、論文広報メールを1320名に送付した。
- (3) JPR編集協力委員（Editorial Board Member）の協力による編集体制の強化を図るとともに、読者データベースおよび投稿・審査システムを維持した。編集方針の整備と公開を行った。
- (4) 著者・購読者に対するサービスの向上のために、学会ウェブサイト上での和文要旨の公開、および投稿ガイドライン・規程類の整備と公開を行った。
- (5) 編集委員会、拡大編集委員会（大会会期中）を開催し、JPRの質の向上のための意識統一と施策の検討を行った。
- (6) 高山植物の生態学についてJPRに掲載された過去の論文を収集したバーチャルイシューVol.2をSpringerおよび学会ウェブサイト上に掲載し、JPR掲載論文のアピールを行った。

#### 広報委員会

- (1) 植物科学関連の学術集会、研究助成公募、求人公募等の植物科学教育研究情報を収集し、日本植物学会ウェブサイトを通じて情報提供を行った。
- (2) 学会ウェブサイトのメンテナンスを実施し、利便性を高めた。
- (3) 一般向けサービスとして、ウェブサイト上でのハイスクール会友の入会案内を掲載した。一般の方々から9件の質問に回答し、植物科学の社会への普及に貢献した。

#### 電子出版物編集委員会

- (1) BSJ-Review vol.9として、「植物オートファジー研究の第二の夜明け」、「カロテノイド：その多様性と普遍性が切り拓く新展開」および「植物の柔軟な発生を支える細胞骨格ダイナミクス」の各総説の編集作業を行い、電子出版した。これらの総説にDOI番号を付与した。
- (2) BSJ-Review vol.10の編集方針を決定し、執筆者に原稿依頼を行った。

#### イ. JPRの国内外の研究機関への寄贈と交換

- (1) 国内外の研究機関等に対してJPRの寄贈と交換を行った。
- (2) JPRとの交換で得られた雑誌を本学会員や外部閲覧者に無料で公開した。

#### ウ. 植物学関連図書の閲覧公開

東京大学大学院理学系研究科附属植物園に保管している日本植物学会の所蔵図書を、会員や外部閲覧希望者に無料で公開した。

## 2. 研究発表大会及びシンポジウム・学術講演会・講習会の開催及び関連団体との協働による植物科学の発展と関連技術の振興の推進（公益事業2）

### ア. 学術集会、講演会、講習会などの開催

#### 大会として

##### 大会実行委員会

- (1) 日本植物学会第82回大会を平成30年9月14日から9月16日までの3日間、広島国際会議場で開催した。参加者は846名、演題は568題であった。大会の要旨集（291ページ）を作成し発行した。一般向け公開講演会「共生を超えて―「神の島」宮島の自然と歴史―」（平成30年9月17日に広島県廿日市市の宮島小中学校で実施）の企画と実施、およびシンポジウムの公募と選定を行った。公募シンポジウム、口頭・ポスター発表、高校生ポスター発表会、展示ブースのためのプログラム作成と会場設営を行った。理事会主催シンポジウム「おぼえきれない高校生物！ -意味のある学びのために研究者コミュニティにできること-」（平成30年9月16日実施）、男女共同参画委員会が準備するランチョンセミナー「あなたも、明日にも直面するかも、介護の問題」（平成30年9月15日実施）を、理事会、男女共同参画委員会と協議して実施した。
- (2) 会員サービスとして、講演要旨集の電子媒体（電子ブック版）での提供を行った。
- (3) 学会本部と共に託児室サービスを実施した。
- (4) 大会の実施にあたって、運営に関しては庶務担当理事と、経理に関しては会計担当理事と連絡を密にし、大会の運営にあたった。
- (5) 日本植物学会賞受賞者（大賞1件、学術賞1件、奨励賞3件、若手奨励賞3件、JPR論文賞3件）の授賞式と講演会を行った。高校生ポスター発表会の優秀ポスターについて、表彰を行った。

##### 広報委員会

日本植物学会第82回大会における理事会主催シンポジウムを企画し、「おぼえきれない高校生物！ -意味のある学びのために研究者コミュニティにできること-」と題するシンポジウムを行った。

##### 男女共同参画委員会

日本植物学会第82回大会における男女共同参画ランチョンセミナーを大会実行委員会と企画し、「あなたも、明日にも直面するかも、介護の問題」と題する男女共同参画に関するセミナーを行った。

## 運営委員会

- (1) 庶務担当理事は大会の運営に関して、会計担当理事は大会の経理に関して、大会実行委員会の担当者と協議し運営を補佐した。
- (2) 庶務担当理事は、年次学術集会中の以下の委員会の開催に必要な会場について、大会実行委員会の担当者と協議した（運営委員会、臨時代議員会、JPR編集委員会、JPR拡大編集委員会、学会賞選考委員会、拡大広報・電子出版物編集委員会、男女共同参画委員会、大会引き継ぎの会合）。

## 学会全体として

一般向け講演会「植物が好き！植物科学が拓く新しい世界」（平成30年12月22日に、東京都新宿区の東京理科大学・神楽坂キャンパスで実施）を企画し開催した。講演会、講習会等の後援を行った。

## 後援6件

- (1) 『青少年のための科学の祭典』2017（主催：（公財）日本科学技術振興財団・科学技術館人財育成部「青少年のための科学の祭典事務局」）平成30年1月1日～平成30年2月28日（平成29年6月10日より開催）、会場：全国各地70会場
- (2) 『青少年のための科学の祭典』2018（主催：（公財）日本科学技術振興財団・科学技術館人財育成部「青少年のための科学の祭典事務局」）平成30年6月9日～平成30年12月31日（平成31年2月10日まで開催）、会場：全国各地57会場
- (3) Fascination of Plants Day 2018 (FoPD, 国際植物の日) 平成30年5月18日
- (4) 第20回マリンバイオテクノロジー学会大会（主催：マリンバイオテクノロジー学会）平成30年5月26日～5月27日、会場：フェニックス・シーガイア・リゾート・コンベンションセンター（宮崎）
- (5) International Symposium on Rice Functional Genomics（第16回ISRFG）（主催：第16回イネの機能ゲノミクスに関する国際シンポジウム開催委員会）平成30年9月5日～7日、会場：東京農業大学・世田谷キャンパス（東京）
- (6) 第8回高校生バイオサミット in 鶴岡（主催：高校生バイオサミット実行委員会）平成30年7月30日～8月1日、会場：鶴岡市先端研究産業支援センターレクチャーホール、慶應義塾大学先端生命科学研究所（鶴岡）

## イ．研究業績の表彰その他研究の奨励

### 学会賞選考委員会

- (1) 平成30年度日本植物学会賞候補者の選考（大賞、学術賞、奨励賞、若手奨励賞、特別賞（技術・教育・その他））を行い、会長に報告してその承認を得るとともに、理事会に報告した。
- (2) 2019年度日本植物学会賞の選考にあたり、候補者の募集を行った。

## **JPR編集委員会**

JPRに掲載された論文からJPR論文賞候補を選考し、会長に報告してその承認を得るとともに、理事会に報告した。

## **ウ．国内外の関係学術団体との連絡及び協力**

### **学協会委員**

生物科学学会連合、光生物学協会、理数系学会教育問題連絡会、自然史学会連合、男女共同参画学協会連絡会に委員を派遣し、協力した。

### **男女共同参画委員会**

第16期、第17期男女共同参画学協会連絡会の運営委員会、シンポジウムに参加し、協力した。

### **学会全体**

- (1) 日本学術会議第二部基礎生物学委員会、統合生物学委員会・農学委員会合同植物科学分科会と連携し、日本の政策決定に向けて提言の作成、および提言を実現するための具体的な施策に関する事項を担当した。
- (2) 生物科学学会連合を通じて、参加学会との連携・協力を行った。
- (3) 各地の植物学会との連携・協力を行った。

## **エ．その他この法人の目的を達成するために必要な事業**

各地の植物学会を通じて、研究動向調査を行った。広報委員会を通じて、植物科学教育研究情報の収集とウェブサイトでの公開を行った。

## **3. 管理業務**

### **運営委員会**

- (1) 平成29年度の事業報告案と決算案を検討、作成した。
- (2) 平成30年度補正予算案及び平成31年度の事業計画案と予算案を検討、作成した。
- (3) 学会全体と学会内の委員会が関与する諸事項を検討し、事前に対応策を立案し、理事会へ提案した。
- (4) JPR編集委員会の支援を継続的に行った。
- (5) 学会の財政基盤を安定化するために、総合的な検討を行った。
- (6) 学会の活性化のため、会員数の維持・増加にむけての方策を検討した。
- (7) 日本植物学会表彰制度の実施と広報の活発化を図った。
- (8) 学会運営の合理化に関して、予算措置を含め検討し、効率的な学会の構築策を立案した。

- (9) 公益法人資格を維持するために必要な業務を行った。
- ① 公益法人認定基準に照らした学会運営状況を確認した。
  - ② 内閣府公益認定等委員会へ事業計画、事業報告等を提出した。

## 庶務関係

- (1) 代議員会開催に関する準備と運営を行った。
- (2) 公益社団法人日本植物学会第四期代議員選挙事務を行った。
- (3) 会員サービスの向上を目的として各地の植物学会との連携を推進した。
- (4) 関連委員会との連携を強化した。
- (5) 公益法人体制における各種規程・契約の審議基準の見直し等、本部業務全般に渡る業務効率化の推進を行った。
- (6) 会員名簿の作成を行った。

## 会計関係

- (1) 平成30年度の経理管理と決算処理を遂行し、平成31年度予算案を策定した。
  - ① 単年度経常収支均衡を原則とする弾力性のある経理管理を行った。
  - ② 会計報告(月次)および決算報告(年次)を行った。
  - ③ 単年度経常収支均衡の原則下での活力のある学会を目指した予算を策定した。
  - ④ 収入増、支出減のための所要の施策を検討した。
- (2) 各委員会等の新規事業立案に対して経理面での建議、支援を行った。
- (3) 各種引当預金の使用計画を具体的に策定した。
  - ① 中長期的視点に立った使用計画を立案した。
- (4) 中長期的学会運営に関し経理面の課題を検討し、対策を立案した。

## 広報委員会

- (1) ウェブサイトの恒常的なメンテナンス作業を行った。
- (2) ウェブサイトのアクセス解析を行い、コンテンツの向上を図った。
- (3) 委員長が運営委員会に運営委員として、また理事会にオブザーバーとして参加し、広報活動の強化に関して提言を行った。

## 選挙管理委員会

公益社団法人日本植物学会第四期代議員選挙を実施した。

## II. 処務の概要

1. 定例代議員会1回、臨時代議員会1回、理事会7回、運営委員会2回およびその他の会合を開催した。
2. 諸規則の整備を行った。
3. 公益社団法人日本植物学会第四期代議員選挙を実施した。（平成30年6月9日開票）

### 4. 役員等に関する事項

#### (1) 平成30年 会長、理事、監事

##### 【役員・理事】

代表理事（会長）	三村 徹郎	（神戸大）
専務理事	松永 幸大	（東京理科大）
編集担当理事	彦坂 幸毅	（東北大）
理事	今市 涼子	（日本女子大）
理事	佐藤 忍	（筑波大）
理事	高野 博嘉	（熊本大）
理事	西谷 和彦	（東北大）
理事	長谷部 光泰	（自然科学研究機構）
理事	久堀 徹	（東京工業大）
庶務担当理事	小竹 敬久	（埼玉大）
会計担当理事	佐野 俊夫	（法政大）

##### 【役員・監事】

福田 裕穂	（東京大）
松浦 克美	（首都大学東京）

#### (2) 公益社団法人日本植物学会第四期代議員 48名

所属地区 (代議員定数)	氏名	所属名
北海道（2名）	小亀 一弘	北海道大学 大学院理学院
	露崎 史朗	北海道大学 大学院 地球環境科学研究院
東北（3名）	経塚 淳子	東北大学 大学院 生命科学研究科
	彦坂 幸毅	東北大学 大学院 生命科学研究科
	横山 潤	山形大学 理学部
北陸（2名）	岩坪 美兼	富山大学 大学院 理工学研究部
	西川 周一	新潟大学 理学部 生物学科
東関東（6名）	石田 健一郎	筑波大学 生命環境系
	今泉（安楽）温子	農業・食品産業技術総合研究機構 生物機能利用研究部門
	岩井 宏暁	筑波大学 生命環境系
	河野 重行	東京大学フューチャーセンター推進機構
	松永 幸大	東京理科大学 理工学部 応用生物科学科
	綿野 泰行	千葉大学 大学院 理学研究院
西関東（6名）	太田 啓之	東京工業大学 生命理工学院
	川上 直人	明治大学 農学部 生命科学科
	杉本 慶子	理化学研究所 環境資源科学研究センター
	関 原明	理化学研究所 環境資源科学研究センター
	日原 由香子	埼玉大学 大学院 理工学研究科
	平井 優美	理化学研究所 環境資源科学研究センター
東京（8名）	阿部 光知	東京大学 大学院 理学系研究科
	伊藤（大橋）恭子	東京大学 大学院 理学系研究科
	加藤 美砂子	お茶の水女子大学 基幹研究院 自然科学系

	園池 公毅	早稲田大学 教育・総合科学学術院
	永田 典子	日本女子大学 理学部 物質生物科学科
	野口 航	東京薬科大学 生命科学部
	福田 裕穂	東京大学 大学院 理学系研究科
	村上 哲明	首都大学東京 大学院 理学研究科
中部 (5名)	伊藤 正樹	名古屋大学 大学院 生命農学研究科
	上田 貴志	自然科学研究機構 基礎生物学研究所
	川口 正代司	自然科学研究機構 基礎生物学研究所
	木下 俊則	名古屋大学 トランスフォーマティブ生命分子研究所
	榊原 均	名古屋大学 大学院 生命農学研究科
近畿 (7名)	石崎 公庸	神戸大学 大学院 理学研究科
	稲田 のりこ	大阪府立大学 大学院 生命環境科学研究科
	工藤 洋	京都大学 生態学研究センター
	河内 孝之	京都大学 大学院 生命科学研究科
	出村 拓	奈良先端科学技術大学院大学 先端科学技術研究科 バイオサイエンス領域
	深城 英弘	神戸大学 大学院 理学研究科
	吉田 聡子	奈良先端科学技術大学院大学 先端科学技術研究科 バイオサイエンス領域
中国 (3名)	且原 真木	岡山大学 資源植物科学研究所
	嶋村 正樹	広島大学 大学院 理学研究科
	山口 富美夫	広島大学 大学院 理学研究科
四国 (2名)	奥田 一雄	高知大学 総合科学系 黒潮圏科学
	松井 透	高知大学 理工学部 生物科学科
九州 (3名)	射場 厚	九州大学 理学研究院
	澤 進一郎	熊本大学 大学院 先端科学研究部
	仁田坂 英二	九州大学 大学院 理学研究院
沖縄 (1名)	山崎 秀雄	琉球大学 理学部 海洋自然科学科



## 代議員会

### (1) 定例代議員会

平成 30 年 3 月 10 日（土）13:00-15:00、東京大学理学部 2 号館 第 2 講義室（223 号室）において開催され、次の議案が付議され、原案通り承認された。

開催年月日	議決事項	
平成 30 年 3 月 10 日	第一号議案 公益社団法人日本植物学会 平成 29 年度決算報告（案）	承認

### (2) 臨時代議員会

平成 30 年 9 月 13 日（木）17:00-19:30、広島大学東千田未来創生センターM301 号室において開催され、次の議案が付議され、原案通り承認された。

開催年月日	議決事項	
平成 30 年 9 月 13 日	第一号議案 公益社団法人日本植物学会 2019 年度事業計画（案）	承認
	第二号議案 公益社団法人日本植物学会平成 30 年度収支補正予算（案）	承認
	第三号議案 公益社団法人日本植物学会 2019 年度収支予算（案）	承認
	第四号議案 平成 31 年度資金調達及び設備投資の見込みについて	承認
	第五号議案 公益社団法人日本植物学会定款（改定案）	承認
	第六号議案 公益社団法人日本植物学会細則（改定案）細則第 3 条、細則改定前の第 6 項の次に新たに追加：正会員（シニア会員）について	承認
	第七号議案 公益社団法人日本植物学会細則（改定案）細則第 3 条、細則改定前の第 7 項の次に新たに追加：海外在住の学生会員について	承認
	第八号議案 公益社団法人日本植物学会細則（改定案）細則第 3 条、細則改定前の第 10 項を改定：被災者の対応に伴う細則の改定について	承認
	第九号議案 次期選挙管理委員について	承認

## 6. 理事会

### (1) 平成30年度第一回理事会

平成 30 年 2 月 10 日（土）13:00-17:20、東京大学理学部 2 号館 第 2 講義室（223 号室）において開催され、以下の審議を行った。

開催年月日	議決事項	
平成 30 年 2 月 10 日	(1) 公益社団法人日本植物学会 平成 29 年度事業報告（案）	承認
	(2) 公益社団法人日本植物学会 平成 29 年度決算報告（案）	承認
	(3) 新会計補佐委員について	承認
	(4) 公益社団法人日本植物学会賞選考委員会内規について（改訂案）	承認
	(5) 公益社団法人日本植物学会賞受賞者選考規程について（改訂案）	承認
	(6) 公益社団法人日本植物学会賞の選考に関する覚書について（改訂案）	承認
	(7) 公益社団法人日本植物学会賞の推薦に関する覚書について（改訂案）	取下
	(8) 公益社団法人日本植物学会大会開催に関する覚書について（改訂案）	承認
	(9) 公益社団法人日本植物学会大会開催に関する覚書の別表について（改訂案）	承認
	(10) 公益社団法人日本植物学会出張規程について（改定案）	承認
	(11) 第 82 回広島大会の特定寄付の設定について	承認
	(12) 公益社団法人日本植物学会 平成 30 年度理事会主催シンポジウムについて	承認
	(13) 「植物の世界」日本植物学会編（1950 年共立出版）PDF 化について	承認
	(14) 植物学雑誌バックナンバーの台湾寄贈について	取下

	(15) 第四期代議員選挙の投票用紙について	承認
	(16) 会費未納による会員資格喪失対象者について	承認
	(17) 平成 30 年度定例代議員会について	承認
	(18) 平成 30 年度定例代議員会に於ける書面による議決権行使の承認並びに書面による議決権行使期限の承認について	承認

(2) 平成30年度第二回理事会

平成 30 年 4 月 20 日（金）、定款 29 条 2 項に基づく理事会決議において開催され、以下の審議を行った。

議決年月日	議決事項	
平成 30 年 4 月 20 日	(1) 第四期代議員選挙の投票用紙について（改訂案）	承認

(3) 平成30年度第三回理事会

平成 30 年 7 月 29 日（日）13:00-17:30、東京大学理学部 2 号館 第 2 講義室（223 号室）において開催され、以下の審議を行った。

議決年月日	議決事項	
平成 30 年 7 月 29 日	(1) 公益社団法人日本植物学会 2019 年度事業計画(案)	承認
	(2) J P R 編集室非常勤職員の時間給について	承認
	(3) 公益社団法人日本植物学会平成 30 年度補正予算(案)	承認
	(4) 公益社団法人日本植物学会 2019 年度収支予算(案)	承認
	(5) 平成 31 年度資金調達及び設備投資の見込みについて	承認
	(6) 公益社団法人日本植物学会定款（改定案）	承認
	(7) 公益社団法人日本植物学会正会員（シニア会員）の制定について	承認
	(8) 公益社団法人日本植物学会正会員（シニア会員）規程（制定案）	承認
	(9) 公益社団法人日本植物学会細則（改定案）	承認
	(10) 海外在住学生会員の会費について	承認
	(11) 公益社団法人日本植物学会細則（改定案）	承認
	(12) 平成 30 年西日本集中豪雨の被災者への対応について	承認
	(13) 公益社団法人日本植物学会細則（改定案）	承認
	(14) 公益社団法人日本植物学会謝金規程（改定案）	承認
	(15) 公益社団法人日本植物学会大会開催に関する覚書について（改定案）	承認
	(16) 公益社団法人日本植物学会代議員選挙施行細則について（改定案）	承認
	(17) 公益社団法人日本植物学会第四期地区代表代議員の選定について	承認
	(18) （公社）日本植物学会賞応募要項について（改定案）	承認
	(19) 学術賞の受賞人数について（松永理事）	取下
	(20) 公益社団法人日本植物学会賞受賞者選考規程（改定案）	取下
	(21) 一般向け講演会の企画について	承認
	(22) 男女共同参画学協会連絡会分担金改定について	承認
	(23) 公益社団法人日本植物学会契約委員の承認について	承認
	(24) 公益社団法人日本植物学会 JPR 将来構想委員の承認について	承認
	(25) 委員の任期改定について	承認
	(26) 会員名簿の作成について	取下
	(27) 2019 年度大会会長について	承認
	(28) 次期選挙管理委員について	承認
	(29) 平成 30 年度臨時代議員会について	承認

	(30) 平成 30 年度臨時代議員会に於ける書面による議決権行使の承認並びに書面による議決権行使期限の承認について	承認
	(31) 本理事会第 14 号議案で承認した謝金規程の改定に係る再承認について	承認

(4) 平成30年度第四回理事会

平成 30 年 9 月 11 日（木）、定款 29 条 2 項に基づく理事会決議において開催され、以下の審議を行った。

議決年月日	議決事項	
平成 30 年 9 月 11 日	(1) 平成 30 年北海道胆振東部地震の被災者への対応について	承認

(5) 平成30年度第五回理事会

平成 30 年 11 月 22 日（木）、定款 29 条 2 項に基づく理事会決議において開催され、以下の審議を行った。

議決年月日	議決事項	
平成 30 年 11 月 22 日	(1) 「大学等 高等教育機関の入学試験に対する声明」案について	承認
	(2) 「研究力強化に向けた女性活躍指標の整備に関する要望」案について	承認

(6) 平成30年度第六回理事会

平成 30 年 11 月 28 日（水）、定款 29 条 2 項に基づく理事会決議において開催され、以下の審議を行った。

議決年月日	議決事項	
平成 30 年 11 月 28 日	(1) 「公益社団法人日本植物学会 役員・委員等選出方法概要」の改定案について	承認

(7) 平成30年度第七回理事会

平成 30 年 12 月 18 日（火）、定款 29 条 2 項に基づく理事会決議において開催され、以下の審議を行った。

議決年月日	議決事項	
平成 30 年 12 月 18 日	(1) 一般寄付金の募集について	承認

7. その他 諸規則の整備を行った。

### Ⅲ. 会員の推移（夏期）

【人】

会員種別	2009. 7. 1	2010. 7. 13	2011. 7. 14	2012. 7. 9	2013. 8. 1	2014. 8. 13	2015. 8. 18	2016. 8. 23	2017. 7. 21	2018. 7. 12
名誉会員	9	9	8	8	7	7	7	7	6	5
正会員	1,919	1,937	1,915	1,855	1,907	1,903	1,874	1,826	1,818	1,812
内終身会員	13	13	12	11	11	10	10	10	10	9
内50年会員	123	121	119	125	124	121	118	114	112	109
内学生会員	390	418	396	347	408	426	451	405	421	411
内上記以外の 正会員	1,393	1,385	1,388	1,372	1,364	1,346	1,331	1,297	1,275	1,283
団体会員	15	15	14	14	14	14	14	10	10	10
賛助会員	2	2	2	2	2	1	1	1	1	1
海外個人 会員（日本 人含む）	111	110	126	122	137	124	126	134	133	147
合 計	2,056	2,073	2,065	2,001	2,067	2,049	2,022	1,978	1,968	1,975

### Ⅳ. JPRの出版状況の推移

	2009	2010	2011	2012	2013	2014	2015	2016	2017	2018
投稿件数	428	393	410	459	481	562	520	632	651	712
（国内）	90	86	70	66	62	61	53	73	69	70
（海外）	338	307	340	393	419	501	467	559	582	642
出版論文数	94	82	69	73	81	74	86	106	95	86
（国内）	58	50	42	47	37	37	43	50	45	44
（海外）	36	32	27	26	44	37	43	56	50	42
IF	1.524	1.512	1.746	2.059	2.507	1.823	1.684	1.899	2.000	未定

### Ⅴ. 学術集会（大会）の参加者数・演題数の推移

	2009	2010	2011	2012	2013	2014	2015	2016	2017	2018
開催地	山形	春日井	東京	姫路	北海道	神奈川	新潟	沖縄	野田	広島
参加者数	672	766	975	742	808	1,002	910	669*	964	846
演題数	434	523	571	474	552	547	513	524	613	568

\*、大会参加費を支払った人数

## 事業報告に係る附属明細書

事業報告の内容を補足する重要な事項はありません。